

新指導要領開始にむけて

今年度より、ご承知のとおり小学生は移行期間も終了し、新指導要領がスタートしました。中学生は来年度スタートとなります。今までの薄い教科書に比べずっしりと重さも厚みも増した教科書を手にした小学生諸君はどんな気持ちになったのでしょうか。

国としての確固たる教育理念を持たず、振り子のように常に行ったり来たりをくり返す日本の教育政策への批判は、今更ここで書くまでもないでしょう。2002年に「ゆとり」指導要領がスタートした時点から当塾はその政策に反対の姿勢をとり続け、教科書から削除された内容であっても、子どもたちの能力を伸ばすために必要と認めるものは、小学生に対しても中学生に対しても教授してまいりました。ですから、今回の改定に対してもことさらにあわてることはいたしません。10年前のカリキュラムにほぼ戻ったことに感慨を深めているくらいです。

今、この国の迷走に一番被害を受けているのは誰だろう子どもたち自身です。そして、その中でも特にひどい状態に陥らされているのが現小学5、6年生だと思います。今の中学生は小1の時から「ゆとり」のカリキュラムで勉強してきました。十分な実力をつけてもらえなかったとはいえ、本人たちの中で混乱はありませんでした。中学生になって一気に難しい内容が増えてきたと思っているくらいでしょう。苦勞をするのは高校に入ってからです。

しかしながら、小学生はこの2年間の移行期間のせいで混乱しています。前年、従来の半分の時間でしか教えてもらえなかった基本の上に、また半分の時間で該当学年の内容を教わり、さらに上の学年から下りてきた高度な内容をこれまた半分の時間で教わるため、塾生はまだしも学校だけで勉強しているほとんどの児童はどの単元もしっかり身につかないまま2年間が過ぎていきます。最も大切な時期に十分な基礎力をつけてもらっていない新入塾生さんが大勢いることからわかります。国の政策の犠牲者といえるかもしれませんが、力を取り戻すためには文句を言っている間にも今までの何倍も頑張らなければいけませんね。当塾を選んでくれた塾生諸君の力はしっかりとつけていくつもりですので、きついでしょうが精一杯頑張らしましょう。

また、今年度から「全国小・中学生学力カップ」の実施会場塾に当塾も登録しました。これは日本全国の小・中学生が自由参加で行う試験ですが、単なる全国模試とは違い、教科別試験の体裁を排し文理取り混ぜた形式で総合的知的能力を測るようになっています。小学生には申込欄付パンフレットを月謝袋に同封しております。テスト実施日が6月19日のため中学生諸君は期末テスト直前で参加はかないませんが、興味のある小学生諸君は是非ご参加ください。